間に會議を開き折

の度毎に地下の大防空線深くを選挙してゐる、余漢牒、臭鐵線を表面十三萬の壯丁をも色深く表面十三萬の壯丁をもつて防職すると漢語してゐる

ら效力を發揮し得なかつた を破壊し二、三日不通にしたり、或は天津において日 を破壊し二、三日不通にし を被壊し二、三日不通にし を被壊し二、三日不通にし っを撒布したがこれは決し て後方援観といふことには なつてゐない、この事實は

事的にも財政的にも急激に弱 たッ勝政府が徐州會職以來軍 たッ勝政府が徐州會職以來軍

日九 月 六

个勇忠 〇五社

酷山を爆撃

他生氏(隣銭社員)同 心氏(同)同 心氏(書籍商)同 定三郎氏(書籍商)同

脆くも潰走す

就砲弾多敷を 鹵獲

福林麾下の三十四、百四十一た敵は小綱にも八日總指揮曹た敵は小綱にも八日總指揮曹

八記者に我が決意を表明

京 (補別石油) 九 京 (補別石油) 九

に、更に經濟的経帯を以でし減伊兩國、防炎の盟警の上

待望、大陸の波止場近日完成

東都・京阪の麗女群デビコ



央へ返還命

IV

文化協會より川版し

は七十歳の老齢で元氣強測とトル劇場で開演の総一行は哈那強で開演の総一行は哈那

市で子供愛育展覧會を開催すれる目的のもとに全滴主要都に以て第二両民の体位向上をはいる目的のもとに全滴主要都にない。

カー (イ)宮内府御賃下品(ロ) 等である は、間(場所未定) 開催すること (ハ) 歴 に決定した、川陳資料は 電子料 製の 動見 である。

皇太子版下、内親王殿下の 県別幼見御時代の日常生活 の一端を拜し率っべき資料 (ハ) 恩賜財團愛育會展覧

に於て捜査中であった、 あることが判明商來中

新鋭觀光バー

には

どん

な名を?

観光協會で車名懸賞募集

に成績よく、唯た城内大馬路

文樂の七十翁

はれてゐる世界で七十歲の老院廳界の如く古い習慣に赴いて時頭飛行機で感爾實に赴いて完善の終師と共に九日午前八宗吉の終師と共に九日午前八宗吉の終師と共に九日午前八宗

一斉に政府職

方関民文庫第六編として満日 変章家經振玉氏は 後進學 で、後のため前朝の名文家の文章 優や思立ち約二ヶ日の月19 で、「清文雅正」を編纂、八日東 「清文雅正」を編纂、八日東 「清文雅正」を編纂、八日東

大盛況の裡に打 座人形芝居は期待さ

自

滿鐵低變

公演さ

いれた文樂

公愛育展覽

利京は廿三日か

山七日汔

は 十一時五十九分廿秒

本語東端奥地の討匪行に名譽 の職死を遂げ護國の花と散つ に農軍勇士の遺骨は十二日午 後四時廿分哈爾濱より三十六 は、同七時州五分吉林より五

御通夜があり、九世 州分より翌十三日全 州分より翌十三日全

時御融歌がしめやかに行はれ 州分より翌十三日午前十時迄 州分より翌十三日午前十時迄

型されお通夜にも出席し の戯のを捧げられんこと

は遊典費に第し昨年七月頃より去月末日までの樹前後十数 り去月末日までの樹前後十数 中であつた皆自白した、尚餘

部が参加して十五名、陸軍病院には日人廿名がそれが、造 で、短期、人形を携行して白 をの勇士を心から慰問しよう

希望者は十日午後太人來談、内地人に限る

大總路三六號

服.

店員數名募集

池田寒山畵伯の

大作完成

石北

家莊行女給募集

悲

き喪

0

凱

を鳴

百貨店専門の萬引監督犯と判 のルビンを股にかけて南市内 四九)で一宗に新京及 で 一宗に新京及 んとするを折柄密行中の中央 はさず逮捕本署に連行取調べ はさず逮捕本署に連行取調べ はさず逮捕本署に連行取調べ

十日大連着

日本は一直別いづれも入質に 日本は新京に入り込み城内新 主地ルとしたところを想達畫さ ・ 本地のであった

本年二月頃か

古館純也氏榮轉

はとで離京。赴任の途につく 天管地方科長に榮轉じて一日

等で全部自然のま (結盟せるもの中小を 一本) 台灣製讀會に 正草丈三米位のもの 正草丈三米位のもの トを鉢植と の二株、古るよの小





梅川縣で計匪 ・ 田 少 別 戦 死 ・ 日 子 田 少 別 戦 死 ・ 日 子 田 少 別 戦 死 ・ 日 子 前 三 時 機 感 と 表 る 六 ・ 日 子 前 三 時 機 感 と 表 る 六 ・ 日 子 前 三 時 機 で 計 匪

内地人に限る委細面談

勢

東都に於ける歴史書の構成 他 原本に発生を表示。 原本でので書面は表示。 原本でので書面は表示。 原本であったが建発完成した。 ので書面は是を挑へて八日午を依 で書面は是を挑へて八日午を依 とで来京錦町四丁目市立 た、此園は市一丈立六尺の特 彩刷まりなき大作である。

外務員急募

職員等の

、偶々 敵の遺棄死体八、山寒覆鍼二、 央通署 身)は址烈なる磯死をとげた 奥へたが、陣頭に立ち奮戦せ は北烈なる磯死をとげた 視然團東京發

の上來る六月十五日迄に當課人事係に租頭相成度左記に依日內地人等衛を募集す希望者は自選體觀響養命

四三二一

電心二五二一一

生のお子様あけば勉強のお相手 閑静な室を求む

るも可

一三田中

人學

野 本

行



数名

THE GALLERY TITHE GALLERY THE GALLERY THE

御靴の御相談はタラヤ靴店へ

は観れ 體に總花

界に誇っ我が網符感術とし はれてゐる世界 情で飛行機にある世界

八日午後八時四十分頃特別市一

馬諸共奪ひ去る

行については東休が車憶だけ、東洋唯一を誇るクルップ・エ

昨夕國務院先の出來ごこ

合ではエンカースの関都入り を経、長率大街から大関艦場 に抜け南嶺に向ふこととなる に抜け南嶺に向ふこととなる に抜け南嶺に向ふこととなる

支配人業事務主任を命ず 滿端解令 七日时節令

本テルで変子代表

在時の院の概者今なほ健在と 日午後四時半より四公園競技 場に於て百、二百、四百、千 五百、砲丸、圓盤、高跳、市 を行ふ率になり 三十代、四十、五十の元氣者 活こそはと申し込み四十五名 が 昔を今 す西公園で競技大會 ことに奥され値の氣合もか、 ち狐練習が行はれ鑑會が骤知

大王殿武(三一)が南陽か 、男を関誘院まで往復二人通れ滿 、男を関誘院まで往復二人通れ滿 、一大連れは下車する様子も 、、さらに南新京まで行け と拒絶したところ案客は矢 に居直つて懐中から拳統を とを担絶したところ案客は矢

(日 曜 金)

成人となった

佛孝胥や祭読の

「清文雅正」編纂

は、八 当 本本会により決定 、八 当 本本会により決定 、八 当 本本会により決定 、大 当 本本会により決定 、本語により決定 、本語により決定 、本語により決定



お配 玉屋 物

將官三百八

亦軍の幹部構成拙悪の極

年 数 を慰問 軍 数 を慰問 軍 数 を慰問 のタイピスト連一関は十一日 務廳の

のとなった に一般将 に一般将

であたかな知られると主 を考慮に入れると主 を考慮に入れると主

▲七•三〇 網层敷語 新線直 「大阪」 機部質常▲八·園 五濃太夫(太阪) 交樂原▲一 の・1七 施妥族的轉 網部念譜 の・1七 施妥族的轉 網部念譜 今崎主なる放送

▲0・B陸上瀬抜曹、午後四三中井

南州大相管可申に担所を送の儀は関する

日午後四時衛生技

中本田阿

會商滿新

テ(六月六日) 単版四平梅分属 準率の 一件標準車員 ・ 作様 夏城

心语

(主要鏈二券郵則學) 九四通 和大

店 龍文堂 大經路六三號

募

經 2 - 1 九三番

但し内地人にして市内に確實なる保證人を要す 身体強健にして努力家を望む

員 葬 御禮 會 岸 川

拓造



サービスガール

滿洲中央銀行庶務課

一、年 齢 二十七歳迄の者 二十七歳迄の者

日人守衛募集

古

を

新州者

-

村扇雀一行會

樂部食堂山

五八〇五

3

演

200

新聞社

まの安徽の宮島、政岡の一郡、海洋瑠璃三番叟一幕の大路洋瑠璃三番叟一幕の大路根別の門のはいがみの様太十し屋

新京の東香班上謂へば平康樫 を語る人々以外にも有名であ を語る人々以外にも有名であ であるが、事變以來俗化して草津

永遠

田時人日より十三日まで

日時

春三日まで

「永遠の感激」封切

電土者三郎、市川龍之助、 尾上者三郎、市川龍之助、 澤村宗太郎、中村たかし、澤 中村芝野、中村たかし、澤 村吉左衛門、中村益之助、 澤村宗太郎、尾上卯太衛門 坂東利之動の花形

好劇家の慫慂に

來京、二十一日と二十二日公 行は好顧家の態源により再び 歌舞伎嵐巖美と中村幹尾の一 歌舞伎嵐巖美と中村幹尾の一

2己が分限を以て贈め

を含堂で協和官首都本部、 一番演藝大台は十八、九の兩所創業十二年日滿聯合副念 所創業十二年日滿聯合副念

應接歌」ご

慈善大演藝會

ら公會堂で開

神線支社福祉係、市公署行政 神線支社福祉係、市公署行政 科、管樂協會收奏樂部、各派 各流師匠、天間報社、大新京 日報社ならびに本社後援で在 日報社ならびに本社後援で在 日報社ならびに本社後援で在 日報社ならびに本社後援で在 日報社ならびに本社後援で在 日報社ならびに本社後援で在 日報社ならびに本社後援で在 日報社ならびに本社後援で在 日報社、野樂協會收奏樂部、 一回二十銭、前賣券は一 世となつてある、出演は扇芳 時となつてある、出演は扇芳 神なれ、桐壺、扇芳亭、天順 理舎班、智樂協會收奏樂部、 新輝所 の師匠や素人のを弟子達など

西梨園 中村扇雀 の花形

*

十一日から滿銭倶樂部で 座

へ 無速なる 競艇を と長が吉 を電池の日にして 大 隆運の日にして

第二

第四 當る 南

破格御觀劇料 於西 六月十二日二日四十三金 滿鐵社員俱樂部 一特 等等 略格 三五 時間 ()

を 源が晴れ作

中片中中中嵐實 村岡村村 川國福玉延福太屬 太 三 女郎教要郎藏郎

周川村 岡村村村 周九九 扇 京 扇 東 衛 県 奈 原 県 松 三 女 扇

鴈治郎ファ

或 母の美しき愛の曲である 境



れ切なう母の情は愛よ!!



岡入原 江 演

劫 げる 曲



腥風四邊を覆ひ凄劇嵐に狂 長こその一家が狭血の獅子 を汲んて、蹶然起つた次郎 の暴狀を憎み、 ふ「男」對「男」の血戰安濃德 仁吉の衷情





うちに時局下の子女の覺悟を示す感やんが第二の國民を代表して笑めの可憐ではあるがこてもおませの悦ち か

打できる。 一様を受けた関する! 「個をする!」 「個をする!」 「個をする!」 「個をする!」 「個をする!」 が解らんかッ!」 が解らんかッ!」 が解らんかッ!」 が解らんかッ!」 が解らんかッ!」 が解らんかッ!」 が解らんかッ!」 が解らんかっ!! を差向けて消るのを かっつた。 かっつた。 かっつた。 かとを差向けるまで、 がに、 がとストルを差にして、 の中で、 がとなるが、 原門を がとストルを がとなるが、 原門を がとストルを がとなるが、 原門を がとなるが、 の中で、 がとは、 がいる。 の中で、 がは、 の中で、 がは、 がに、 の中で、 がは、 の中で、 がは、 の中で、 がは、 の中で、 がは、 の中で、 がに、 の中で、 がは、 の中で、 がは、 の中で、 がは、 の中で、 がは、 の中で、 がは、 の中で、 がに、 がに、 のでは、 の

受け 第一世間の 管案 が関すれしたる

に場合に著陸した は関連した で場に著陸した は対理は が運貨

は陸迄在場では、

答るのは陸 最も他當し 近のの数た

だける荷物運賃の 何に因る不時著陸 和空機の故障又

空陸旅客及

は語る
今日の会議において懸案の
全議總道貨物選貨改正案が
を議総道貨物選貨改正案が

については目下のところ申ものであるが、具體的内容歌開發の促進を主観とする歌に通り産

上げ乗ねる、新運賃は旧本れば今月中に當局の許可を 秋十月一日から実施したい 大十月一日から実施したい

いのを來

秦在帝豆

連帶運送規定

全滿

鐵道貨物運賃

七月早々正式發表

から實施の

開發の進行漸く反映 電易の答を検討するに、對日 で表生の大超者、對第三國貿易に出るで三千百萬國 の入超者、對第三國貿易は三 第三國貿易の出超で三千百萬國 除きたる對第三國貿易は三 の九千八百萬國に比し九千五

一一日より日 ・ 一一日よりであるを ・ 一一日より日 ・ 一一日より大連目の ・ 一日より大連目の ・ 一日より大連目の ・ 一日より大連目の ・ 一日より大連目記 ・ 一日より大連日記 ・ 一日より ・

R

、 総會を開催、十二年度決算案 を可決、當期配當八分据置を 決定する管

八分配當据置

超機輸對超機輸

本年五月前天で五月前

貿易局面

に

五月中の鴻洲對外貿易は輸出六千五百七十四萬七千圃、輸入一億一千百四十二萬二千團、配正して差引四千五百六十六萬五千四の入超である、これを前年同期に比較すれば輸出を前年同期に比較すれば輸出を前年同期に比較すれば輸出れ第一十九萬三千國とそれぞ五百五十九萬三千國とそれぞ五百五十九萬三千國とそれぞ五百五十九萬二千國とそれぞ五百五十九萬三千國と

七月早々 の株主總會で决定 11:/ に譲

みられる と顕著なる

いる反映を示するの

と胸

新京輸入組 五月分

成合 績

恵一片〇〇

1/1

說

| 田牧高||五五件 | 本月獲高||二六件 | 本月獲高||二六件

回收高一五五件一五一件一个

金三七、501、6

前点

銃。後

五月中滿洲對外貿易 入共に著増 對日斷然群を拔

大連火災の營業は繼續困 することに決定、來る七月早 である とは興年六月に解散する課により別外事業一切は弱地火 前により設立をみた関策會社 法の關係もあり一ケ年間は整により別外事業一切は弱地火 前により設立をみた関策會社 法の關係もあり一ケ年間は整により別外事業一切は弱地火 前により設立をみた関策會社 法の關係もあり一ケ年間は整により別外事業

計 ・ は人發起 本月中取扱高金 ニッチッラへ、会 本月中取扱高金 ニッチッラへ、会 本月中取扱高金 ニッチッラへ、会 本月中取扱高金 ニッチッ・ラー で、勝買傳票 本月中取扱高金 ニッチャッキー で、関係票 欄 塲日

外經濟電報

二船を増

大連航

各地商品市

なるものと期待されてゐる

H

1發制實施

大阪給 大月限 15.250 八月限 15.250 八月限 15.250

事務員達の話しは保護けら 事務員達の話しは保護けら でする計画を表現したする計画を表現した。 ですりでは、日本軍を慶歌したする計画を表現した。 できる時間である。 できる。日本軍を慶歌したする。 できる。日本軍を慶歌したする。 できる。日本軍を慶歌したする。

九日

●新發賣!!!

★東京株式 (短期) 東京株式 (短期) 寄付 大明 18150 (500 18150 (500 18150 (1815) 18150 (1815) 18150 (1815) 容は古い、だが、さう形容す 外なき耳楽をつんざく大変 (四十二) (競技 無 断)

機 の 機。少 非 際にしんし 少 長 酸にて も 作 危急を 、 ひ



さ、話しの横きを保すのだ 株子の良郷子 坂東好太無北見磯子 坂東好太無北見磯子 1.15 1.27 7.39 2.37 5.49 八日より十三日まで、

TITI 主演をない。主演 加 別十一日より 12.00 3.05 6.10 9.15 D 六月八日より三日間

銀座支 が路水島道太郎 一色すみれ に照子阿部九州 に照子阿部九州

大郎長一家 でなった。主演 が京キル・主演 をいる。主演 野祭劇場 朝文婚 0 H

12.00 3.30

しました。

朝 5-18 7-03 ニュース 12.00 8.45 7.30

石

新京サネマ (1.3) 3.10 1010 5000 8040

映画御界内 豐樂馴場

*光勇

書弘

大都亦 日本橋通二五 罪へ三分 着K 宴會場思斯 24

物 弫

ホンダミンB ホルモン葡萄酒 胃 イチン肝油 ベンチン 腸 富豐庫在

新京証券 電話(3)六三五三

医値鍛錬後に新展開期待底値鍛錬後に新展開期待底値鍛錬後に新展開期待底値鍛錬後に新展開期待底値銀線を程だに送つて居場からなった。だが之を以て底値銀線時代とみてみる鍛錬を程だ後の練品はあれ賣に歩の無い現位壁だとみでみる鍛錬を程だ後の練品はあれ賣に歩の無い現位壁だとみでみる鍛錬を程だ後の練品はあれ賣に歩の無い現位壁だった。だが之を以て底値銀線時代とみでみる鍛錬を程である。若子の波瀾はあれ賣に歩の無い現位壁だった。だが之を以て底値銀線時代とみでみる一面不安材料を表している。

*技 秀 一夕

間 (3) 6016 6017

全 **活洲帝事公司証券部** でできって

目下の人氣株

選近ニ抱ラズ配達シマス 話和木 二百橋 C質通 入店人 香前六

有望株の物色買時代

(日曜

皇帝、

各省長召され

地方政情を御聽取

海大臣の訓示は建理のみと をられ各部大臣の訓示は建理のみと をでこの監従来のお座なり をでこの監従来のお座なり をでこの監従来のお座なり を満と異なり、真摯かつ效 果的な結果を齎するのと期 行される、信練理訓示並に 各大臣の指示事項は目下企 を成に於て整理起草中であ るが、産業エケ年計畫に顕 るが、産業エケ年計畫に顕

一ケ所とせず軍慶、衡陽、長はすでに奥地移轉を開始してはれ政府の所在地は

漢口 R. M.

【頁二十刊夕朝紙本】

電二九一三・ 吉川商會 採甲板

厦門稅關再

徹底的原東市

猛內爆外

御求め下さい。

事」に御氣付下さ

「不完全な時計」

は直ちに修理

御自分の生命を亂費して居る

て居るならば

る機

に表を招待盛大な晩金會

いかりれい。

ないますが、別れい。

ないまが、これいまが、

軍司令官、大使館員その他主な側張関系総理以下各部大臣、参

萬一不完全な時計を御使用され皆様の御時計は正確ですか?

く再開する旨七日内田總領事 の占據以来閉鎖中であつた夏 の占據以来閉鎖中であつた夏 から税闘長に通告され

に最後の運命迫り

散り が の に 分離 発

の避難民元萬人を収容し得る避難所の設備が成り、重慶ならびに嘉陵江を隔てる動学の江北市は要人の避難所に充てるため八ケ所の特別區域とれば、經濟、教育、内政三部は重要指機關は最初の豫定たる長沙を飛び越えて湖南省東部の演問に発電された重慶では今や全力をあげて諸紋の準備に忙殺されてゐる。九日當地に齧って形勢關望中の陽民政府要人は各部を合せ値かに十名に過ぎて九日迄に大部分は倉皇として奥地に逃避すみである▼「上海九日設國通」いよく「國民政府の漢日加棄が決定したのでその重要機關の過入先生れば、經濟、教育、内政三部は重要に移りつゝあり、既に移轉済の立法、司法、考試、監察の各院と合流するを通、外交の兩部は昆明に移りつゝあるが、特に對外折衝に重要なる瞬間のみ昆明に移したことは外國使臣の希望を容れたものとして注目される、たほ軍事委員會の移轉りつゝあるが、特に對外折衝に重要なる瞬間のみ昆明に移したことは外國使臣の希望を容れたものとして注目される、たほ軍事委員會の移轉に指定された重慶では今や全力をあげて諸紋の準備に忙殺されてゐる。九日當地に趨して務勢の客院と合流する交通、外交の兩部は昆明に移りつゝあるが、特に對外折衝に重要なる瞬間のみ尾明に移立たる長沙を飛び越えて湖南省東部の演陽に退却するものと見られ、これに伴ひ府避難民五萬人を投資として注目される、から、即と政府の護地の大き、のと見られ、これに伴ひ府避難民五萬人を投資として注目される、たほ軍事委員會の移轉に指定された重慶では今を全力をあげて諸紋の準備に忙殺されてゐる。九日當地に達した情報によるとすでに全市及びその周囲には淺口から時機關は各地数側所に分離しる。 全市の金持通は大恐慌を來

わが連日

爆に

田島滬信政務次官は滿支龍祭のため黒岩技師、白木秘書を長、平井出交通部大長、今吉橋東局司政部長、瀬田電々總を受け大連から來京、大都ホケ受け大連から來京、大都ホケット受け大連がら來京、大都ホケットで入った

田島遞信次官

難民の恐怖混亂 支那に求む 心、貴州、桂林、日

宛ら此世

ることに決定し、すでに移轉を開始してゐる、これは同態が香港ですでに購入費でなほに待機せしめて河内へ再輸送し、消費を選挙を選び、自動車などをそのまる當地に待機せしめて河内へ再輸送

ロ方面への軍事輸送を殆んど、 の修領印度支那河内に移轉す を港に設けた辨事臨はこのた がの領の度支那河内に移轉す 廣東政府遂

管政府主席 管政府主席 に近接せる

が空機のため香港腹重より漢

に 行はれるに至った核線である 原は自主的に和平促進の態度 原は自主的に和平促進の態度 原は自主的に和平促進の態度 原は自主的に和平促進の態度

シとしめたことをお傳へし度い は伊太利が全人は を受けた をであります、 をであります。 をである。 をでか。 をである。 をである。 をである。 をでかる。 をである。 をである。 をでかる。 をである。 をである。 をである。 をでかる。 をでか。 をでかる。 をでかる。 をでかる。 をでかる。 をでか。 をでかる。 をでかる。 をでかる。 をでかる。 をでかる。 をでか。 をでか。 をでか。 をでか。 をで チアノ外相の

メツセーヂ

存するのであります

▲開野唯吐(福洲曹達)九日 本市川宗助氏(奉天商工銀行) 同 市川宗助氏(奉天商工銀行) 同 一 本市川宗助氏(奉天商工銀行) 同 一 本市川宗政(住友金屬工學) 同 本小陽良平氏(住友金屬工學) 同 本京政 本テル 本京の繁行氏(官吏)同 本市テル 本京大(同)同 本京大(同)同 本市テル 本京大(同)同 本京大(同)同 本市テル 本京大(同)同 本京大(日)同 本京大(日)日 本京大(

新京の時間のルーズさである▼ 長春時代には長季時間といふ言葉があつたそうだがそれが関都新京になつてから新京が関都新京になってから新京になってから新京になってから新京になっても時間のルーととはは後季時間のルー

六 月

大正堂時計店

時

計

鏡

石

商

抗戦断念か

悲鳴

計 鏡 屬 金 中谷時計店 日本橋通 吉野町 大和通 大林

天龍堂時計店

計

吉野町 正直堂時計 東一條通 興安大路 阿曾時 金華堂時計店 計

V 背は亡ぶ 者は昌え、 時を失ふ

いことは野するに新京時間の是で 大きい▼新京時間の是で 大きい▼新京時間の是で

>時間を正しく守るは事を處する秘訣なり 一分は永久に回復し能はず 一分は永久に回復し能はず 一の時間を愛せよし吾人の生涯は 一番人の時間より成る 守るは事を處す 3

V

親善電波

B管柱栗樹の藤洲関歌放送文 に依り始められ最初にEIA き今度は行く、コンテイ極長の 松口でも開催にマイクにする を通り再びトライヤー がの古樂を送り再びトライヤー がの古樂を送り再びトライヤー が、離も心持 のがアナウンスあつで四 のがアナウンスかのからのがといる。

が開に亘り減伊南國民が電波の投資再び管絃製、獨唱等あの投資再び管絃製、獨唱等あの投資再び管絃製、獨唱等あの投資再ので表了アナウンスの後四十つで終了アナウンスの後四十つで表了アナウンスの後四十つである。 公統徐紹翔氏の挨拶だ、ラブ

1

またけ太利經濟(性和國長エットとの変換によりに関係的主要を を表す、日本の主要を表現の首都から一萬後別のである。 「日本の対域の皆様にである。 「日本の対域の皆様にである。 「日本の主要を表現の情報に、 「日本の主要を表現である。 「日本の地方を 「日本の本の 「日本の 「日本の

格敗敵を追走西方に進撃中の 格敗敵を追走西方に進撃中の 格敗敵を追走西方に進撃中の 地間〇〇で約一千餘の敵を遭 中間〇〇で約一千餘の敵を遭 閣僚會議【東京國通】

富山

成所現祭團

日午前八時州分裂泰大へ一十分來京京程旅館に投稿、十年職員十三名は十月午前七時間以際青年學校教員養成所親

津浦全線開通す 九日第一列車運轉 産婦人科 蓬莱町一丁目電話33180 電な時間を一時間以上も無い ではい▼時間を破守する者は思 をなり実會の時間に三十分位 で非道いのになると一時間は で非道いのになると一時間は で非道いのになると一時間は

を と 中支と ます を と 中支と 中支と する 医 別を 遂げた。 すでに 四 を の と 瀬 州 の 陷 落 も 決 に 日 は が た こ ま と 中支と ま す に 日 は 新 た

神なるも、郷智、殿腔となると、古来至復の表頭として、
 神なるも、郷智、殿腔となると、古来至復の表頭として、
 神をらるる土地は、即ち勝州
 中原の大商場として、
 中原の大商場として、
 中原の大商場として、
 中原の大商場として、
 中原の大商場として、
 中原の大商場として、
 中原の大商場として、
 市町樹梨

なる展開を遂げた。 すでに 徐州攻略成つて職局は新

(日曜金)

爲政者の側について考ふ

殊工業保息及び補助條合においては辨込資本百萬元以上の 會社に對し你式の利息年五分 社債の利息年六分を園民政府 が補償せんとするもので工業 生産力の不足に傷む國府轉餘

比較的容易に事も解決するでは関民は喜んでそれに服し、は関民は喜んでそれに服し、は質を

皇軍入城大歡迎」

工業奬勵を策す

沿岸地帶工場喪失に對應

封の支那紙

ば、今日こそ肚の政治、意力の政治が最も強く要求されてもるるのである。國民の精神力や見悟は、知的説明によつて異へられる以上に一般的には 社の底から納得することが多い情報者が断乎たる質行力を示すば、関民はついて のである。

鄭

地理的懷古(た)

宫

権

李

るところがなければならめ。 われく、は日本と、それを 動る情勢との事態を明確に認 し、困難を知り、覺悟して を選するのである。知らすし は國民の質の納得と協力とを 要するのである。われくの は國民の質の納得と協力とを からと言つて腰を抜かす如き は國民の質の納得と協力とを からと言つて腰を抜かす如き は國民の質の納得と協力とを からと言つて腰を抜かす如き は国民の質のをある。われくの のに向上し來つてるた。 である。最近関民の生活は大

說

)

ざ決戰ピ

な

ると

日本の輸出力が減るとすれば、それだけ輸入力も減少するのである。もとより軍事行るのである。もとより軍事行為の生産擴張も行ばれねばない。関にとつて必要なことは、いかに經濟的困難が大であららともそれを打破り征服して邁 は自己質力保存好策から、從 球何礼の戰線においても蓄初 は中央軍を繰り出し恰も第一

本の北田の歌談においても監初しての大部で、位自己實力保有好策から、從 坤一郷の決職を試みんと豪語 起して足並掘はず大動揺を変 に指摘して、名の集中央軍を繰り出し恰も第一 わが軍による郷州包閣の態勢 なく之に對するわが軍は意気 に当いると手際良く継軍と交 に留めたけれども大部分は漢 防に対より安全地語へ選難せしめ 一派の採りる態度に憤懣せる を営とし難軍將領の憤懣の の光候歴然となるや漁早く職 一般の採りる態度に憤懣せる を営とし難軍將領の憤懣の も診方なくその儘已むを得ず においては やその勝敗の勝 の光候歴然となるや漁早く職 一派の採りる態度に憤懣せる として「郷州を收むる者は天神で かってある。即ち當初蔣 『神大郎に教徒を記みんと豪語 起して足並掘はず大動揺を変 があり傷支那軍関争割の場所 で 一般に対しるの地位に附き、敗職 五個師約二十萬も懂かにその で 一般に対して 一般に対した 一般に対して 一般に対した 一般に対して 一般に対して 一般に対して 一般に対しが 一般に対しめ、 一般に対しが 一般に対して 一般に対しの 一般に対しが 一般に対して 一般に対して 一般に対して 一般に対しが 一般に対して 一般に対しが 一般に対し 一般に対して 一般に対しが 一般に対しが 一般に対しが 一般に対して 一般に対して 一般に対しが 一般に対し 一般に対して 一般に対し 一般に対して 一般に対し 一般に対し 一般に対して 一般に対しが 一般に対し 一般に対しが 一般に対し 一般に対して 一般に対し 一般に対して 一般に対して 一般に対して 一般に対して 一般に対して 一般に対し 一般に対して 一般に対して 一般に対し 一般に対して 一般に対して 一般に対して 一般に対し 一級に対して 一級に対し 一級に対

廿六回大會は八日丸の内東京【東京國通】日本新開協會第 大戦車砲ミみ 大會開催

會館に開催した、會員二百餘名出席、總裁東久邇宮殿下御 使の令官棒職、總裁東久邇宮殿下御 を答の辭の後、蹶郡に入り出 を皇軍將兵と從軍新聞人に對 上感謝の意を披瀝し、午後四 時から支那事變列は新聞人の 財滅祭を行つた

大日午前九時から た日午前九時から で開催、皆川教章 で開催、皆川教章

民生部直 事務官 轄學校

9

F. F. # F. D.

新京取引市况

手形交換高 (九日)

鮮魚小賣相場

國本網網網網網名 六 一 月











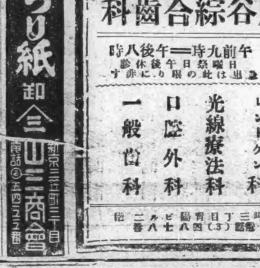
切なざ……・

唄ふは我らが



电(3)四三三五章 給排水設備工事 蓮見工務所

水道。修繕业





分の

新京 六〇 五

蔣、直系軍を後退 雑軍將領極度に憤激 手筈が出來素晴らしい發展

日本新聞協

古ボイラービ煉瓦

せて

英紙、武器輸出詐欺を素破が

1クランド號出帆前で間に、 運轉手の話で荷物の中に通知したところすでにマ に通知したところすでにマ に 運り かいた では では やいかい では いったので、同社では早速註

那人だといはな で直接武器のひ で直接武器のひ いに居住するが ンに居住するが

れる富裕な である富裕な

遂に輸入統制の擧に出

興中公司

石炭部を新乳

大同炭を日本へ

府財政愈々窮乏

最悪の場合にも備へで準備す 進することでなければならぬ ともそれを打破り征服して邁

大野兵之にひつばり風の大歌 は復歸支那人四十五萬を算が其 た野兵達にひつばり風の大歌 は復歸支那人四十五萬を算が其 た野兵達にひつばり風の大歌 は復歸支那人四十五萬を算が其 た野兵達にひつばり風の大歌 は復歸支那人四十五萬を算が其 た野兵達にひつばり風の大歌 は復歸支那人四十五萬を算が其 た野兵達にひつばり風の大歌 は復歸支那人四十五萬を算が其 た野兵達にひつばり風の大歌 は復歸支那人四十五萬を算が下甲甫において流る。 日本側では三井 いである、日本側では三井 いである、日本側では三井 いである、日本側では三井 いてある、日本側では三井 いてある、馬鞍山銭 では、野野山大が同氏は大要次の一 (職も華中公司の手で採舗の)

新疊、備後表

一式販賣 電腦回出九〇點

京曙町三丁目十八番

監視下 で教練

國民政府奥地の

株上に政界消息通ボール・アメリカン紙(ハースト系)は入日のが 抵上に政界消息通ボール・アメリカ 赤軍內部動搖

商况

日外稿通 軍級

迅速低利金融。

電話 金

電話ノ御用へ

財滅延吉副街長 正式に任命さる 延吉龍々間長財務悟三氏は七 を音覧々間長財務格三氏は七

主

催

新

京

日

日

新

聞

社

後

援

新 京

觀

光

協

會

新

京

交通

會

新

京 寫 真

材

料

商

合

関五十銭台となつてゐる 関五十銭台で本年度は十 田五十銭台で本年度は十 田五十銭台で本年度は十

給實施地域は當分の間左の地 施に基く勢工協會の勢備票發 一種子等機要發給規則の公布實

限定さる

新京特別市、吉林市、奉天

要炭七十五萬

日支親善物語

東京の兒童が支那兒童に

眞心こめた手紙

支援害物語

通じて聞く結ばれた明朗、宋京順達』これは何な宣

脇田博士に依頼したものであ

に通ずる

記事を載せられましたが高せられた名誉物の技術高せられた名誉物の技術高せられた名誉物の技術 國官吏に依つて行はれた標本 記事を載せられましたが之は 記事を表しては斯線な通

行はれて居る場合が再故の大 部分を占めて居るのでありま す、斯様な事故の防止對策に 対では殺闘のみたらず鍼道雷 上に於て又誤解一掃の上から してもこう云ふ事故に就ては 其の都度直接當局の方へ申出 でられる機にして頂き度いと

である である である 【東京興通】北支治安の恢復 と共に日本、朝鮮、満洲、支 一枚切符を發賣し、直通連 がではいよいよ東京、北京間 の一枚切符を發賣し、直通連 系表において目下開催中の鐵 が成功ではいるのが、関 等機器の連絡會議で北支、 東京間の運输通車協定をなし 旅客は來る八月一日から貨物 は十月一日頃からそれぞれ速 が輸送を實現することになっ た、この計量が實現すれば北 支北京への旅も内地旅行と何

南京虫殺虫劑

滿洲派遣研究會

年產繭豫想

5 メ(明治十二 別縣、錦町二丁目

藤本ミツ

ただ室完備

祭智胡同一〇一但中與新總行裏

電話即刻參上(聲②一八四二)

御試用歡迎!

優良國產

ニツボンミシン蛇の目ミシン

舶來に絕對劣ら

資任を以ておす め出來る

京間

在

庫

中古ミシン賣買も致します

新京國産ミシン商



店出張所

電話②4280番

奉天琴平町一三 電話③40.91番 新京中央通五0 電話③3933番



倚平四 植主公 电家范 促版山 眼篷 東安 湖溪木 稳 承 們圖 非觀 化級 山克 爾拉縣 研哈 4 齊 預顯音

STATES AND STATES OF THE STATE

與安大路四一九

自島醫院

◇期間中特に奉仕値を以て

ペリー1 表重ね草履 千草表喩ね 菓 履

リーフ表面ね 草 農

△夏の 斯柯紹奮尺 七儿 子

子

◇夏物御買徳市 ポプリン地婦人簡單眼 化粧石鹼半打 D 1、 00 五 五 五 五 五八 玩具奉仕 見 切

正階特賣場

冷藏庫特價奉仕 清凉飲料充實 地階 (各種天然果汁)

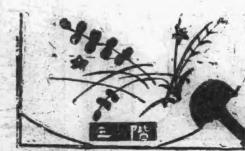
▽特選アルバム景品付特賣週間 期間中アルバム御買上の御方様に限り

◇期間中のサービス品 レザー表洋本アルバム 大和給アルバム四角判 1.80

コーナーー個進星

◇夏の繪羽織ミ訪問着 の御仕立無料奉仕

◇ファイバー着尺新柄



三圓三拾錢均一奉仕

お

家

庭

院 IIII

入梅時と胃病生

消瘍の症状で療法

国 黒褐色です、肉眼で血液のあります、またことが不明な場合でも化學ります、またことに胃痛がなくても腐食血で倒れた後に黒色である。と考へて間違ひありません、で腹痛と同時に脳嚢血がありたといふ時には必ずレントゲンその他の

郷性胃炎にも腫々見られる

に消失してゆきま が、食餌療法及び、 、食の療法及び、

述べる

・大田血を超し胃壁に 一一般に大切な症

潰瘍であるとは限らず、 町郷 や便の港在出血は必ずしも胃

和が軽くたります。そのを吐いてしまふと急がないでしまなと急

化不良乃至は急性関カタルで (さます、その主なものは消滅、殊に胃疾肌が急に増え

ルで の恐ろしい胃癌やさては 増え 一清化不良といひ胃カタル 関の ありませう、俳し一般に

一十一脂肪資料までがまじつて

将用期から製魚の頃竹山

ありませう、作し一般にこの

運動

屋のかんかかり

言ふお方は

原因が多くあると存じます。
脚葉原能の飲落症といぶ器に破能の活潑でないこと、所謂

口に言つてしまへば岩

ラく月經不順で、毎月月經が かかつたり、お腹が痛む事が 多く、お風呂から出てからず 多く、お風呂から出てからず

一夏の男洋服一

麻に代って

、パーム・ピーチ登場・

又は物に精がなく肩が凝り易

のほせて

ちつどしてゐでも

の交機品がチャン

に生地としてウーステッドは らの都會着の中心生地をなし に生地としてウーステッドは に生地としてウーステッドは に生地としてウーステッドは でもの、ボーム・ピーチの他 に生地としてウーステッドは ではなり、い

初夏の氣分そのもの」やうな 感じがあつてい」でせら、そ してこれ等の生地が、この夏 一杯は、ス・フ入らずのスト ックがあるのですから、殿方 の講足を買ふことができませ ら、が値段が從來より二、三

常時の折から仕方ないでせら割方高くなつてゐるのは、非

人困る

上に、シワも田ず、

若い女の場合・年配女の場合 醫學知識を持て

など、同じで など、同じで など、同じで など、同じで その期間だけを そんなに目立たない軍資品です、今日まで流行のトップをす、今日まで流行のトップをきつてゐたポーラよりも軽いといふのですから、ますますもつて便利です、そこで、今夏の流行服はまづパーム、ピーチから、といふ譯になりませらが、ところでスタイルは 夏の流行版はまづパ

どんなものでせらる

目です、からした傾向に伴っ編は依然廣目に禁丈はやゝ息 ませうがズボンは昨年度のソの心持ち狭目になつてゆ て、チョッキの襟閉さは、 男性美競舞の第一要件です うに、途方もない洗線型は 殿方 然の線を生かして、腰廻りから裾に の背殿姿は、輝く

はれる位、らかつに漬けられ、對し、鹽一升水一升五合の側といいますと甘く漬けられ、對し、鹽一升水一升五合の側をいいひますと甘く漬け除ちで、の軽い重石で一週間完漬致した。すず、梅とらつきようが腐る原因は、共に深い器に入り煉瓦三個位ですが現るのです。其原因は、大きを同じらして世に出年ら宿の軽い重石で一週間完漬致します。梅とらつきようが腐る原因は、大きを高いらして世に出年ら宿の軽い、五本と共に一度沸騰させ、冷に明ですが現に角とのきようが。まして、らつきようを出く洗りまで、時間ですが現に角とのごつは、すっ次にらつきようの早漬は、「はれる位、分のきようが腐る原因は、大きを選いました。 そとした味覺をもつて登場いた。の色の白い肥つたものを選び とした味覺をもつて登場いた。の色の白い肥つたものを選び しますが、その漬方は難しい。天地を取除いて洗ひ、水をき 間もので俗に「らつきようの漬っておきます、大にらつきよ はれる位、うかつに漬けられ。對し、鹽一升水一升五合の樹 ないらつきようが腐る原因は、共に深い器に入り煉瓦三個位 をいひますと甘く漬け勝ちで。の鰻水を作ってらつきようと まる事、梅干の麭と同居して。まず、其後笊にあけ半日位汁 ある事、梅干の麭と同居して。まず、其後笊にあけ半日位汁 まで同じらして世に出年ら宿。砂糖七、八十匁、赤唐辛子十 まがくさるか、らつきようが、まして、らつきようにかけ煉 で、こうどらつか。まして、らつきようにかけ煉

京〇〇經

濟市況(大連・新 九

、○○時事解説(東京) | 未 定 | 未 定 | 第二樂章 計

語(東京) ドレグレット・ マグデオ

人俱樂部

◆其の他の新成物では仇討ち書提湊邦三「死麻股族草」 付続し大金帳」 大倉城郎「ケ流し大金帳」 大倉城郎「ケ流し大金帳」 大倉城郎「大阪族の下に」海野十風「大阪族の下に」海野村の大阪族の下に」海野村の大大金帳。

5 0 番 和 六月十日 金曜

元朝の音樂(大連) 一京、二五ニュース 一京、三〇ラデオ陸 「大地) 一次、三〇ラデオ陸 一次、三〇ラデオ陸 一次、三〇ラデオ陸 一次、三〇ラデオ陸 一次、三〇ラデオ陸 一次、三〇ラデオ陸 一次、三〇ラデオ陸

とが出来ますので、新ら つきようの出現したころに召 上るによい方法です。 ます、二、三日して召上のさめぬうちにこの汁でのざめぬうちにこの汁で

とつて煮ること、又煮上つてない様にするのには、鍋瓷を

敵らかになり

である。 豆の類は、

すぐ冷たい空気にふれても皮 れた布巾をかけて置く、大豆 れた布巾をかけて置く、大豆 を煮る時は、昆布と一緒に煮 ますと、早く喰かに煮えます

ではからの猫汁で煮っ

に皮が

造けます、二、二 で観のさめぬうち で観のさめぬうち

豆類の上手な

柄は断然締物です 流行色のないのが悪

のが普通です、

性美を表現するのに好適でせ歩服等としてガッチリした男

澤山ふり

六時間放置

縞も

組合せにより、い

なほ

なども、明快な

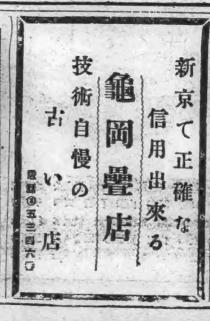
ることが出来

油醬 上最

姉

濟經て













こののぼせは、若い人のの は、かなりのでは、かなりので で殊いほに がからまくゆかないで不闘和 はたったゝめと思はれます、 たこは又手術をして卵巣をとつ でしまつた方に、往々にして からにせが出るのを見ても到る ことですですから

い方の場合から申してけて考へられますが、相當年配の下

光づ

せ岩分の

大に相當年配の四十五前後かいやうでしたら、専門閣にから五十三、四歳頃のとぼせは、かってしまが方もちとが必要でした。時には結婚してからの方も、御家庭では生活をといってしまが方もちの方も、関連を整へるのも一法、ます、要するに若い方も年配った。相當年配の四十五前後かいやうでしたら、専門閣にから五十三、四歳頃のとぼせは、つてその根本の原因があると、方に相當年配の四十五前後かいやうでしたら、専門閣にから五十二、月經閉止などの結果、のがよろしいでせら。

カフス付きも、相當多くなつきたことでせら、また袖先のみ丈は幾らか短目になつて、 ツタリとしてきましたためこつまり裾廻りが少し跛目にユ 行色は、フール、

相

と郷心配になる殿方も多分お 生地――クパーム・ピーチの 方面の関係で、着用できない とも決して劣らない腕の代用 夏の魅力、腕の洋服が、今 ありのことへ思ひますが心配

ひさし 先天性遺毒が原因か? 康

(間) 常小學校第一年生 仕 を居ますが頭が極く悪くて入
夢以來半年間を過ぎましても
学を一も知らぬばかりではな
学を一も知らぬばかりではな
す、 に表面的に見ますと仲
す、 に表面的に見ますと仲
な丈夫ですけれども病頭には
とても良く罹りまして毎年の
とても良く罹りまして毎年の
とでも良く罹りまして毎年の
とでも良く罹りまして毎年の
とでも良く罹りまして毎年の
とでも良く罹りまして毎年の
とでも良く罹りまして毎年の
は必ず避ることは
地変ません、それは先天性遺 小學一年生、頭が惡

年生、頭が悪い なは恰度淋病に罹りまして生 の出來物が出來ましたが治 を山の出來物が出來ましたが治 を山の出來物が出來ましたが治 を山の出來物が出來ましたが治 を山の出來物が出來ましたが治 (答) 一度も診察もせず (答) 日費女の訴のみを (大齢であり心苦しいのでありであり心苦しいのでありなますが貴方の訴の如でもなく一見丈夫そうに しゅう はんしゅう はんしゅん はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしゅん

談

三京、五〇經

九

| 家庭メモ 次 無 無 線 西市況(東京) 西市況(東京) 西市況(東京) 西市況(東京) 一 大央本部指導科長 一 佐 一 佐 一 佐 一

交響曲

◆犯人探し懸賞つき探偵小説 悪魔の設計圖もいよ~解 決篇に入つた、將棋に花田 入段の「角落の攻撃法」の 加たのも錦上花を添へて點 個上でも錦上花を添へて點

五、110コドキの新聞 (解語) (解語) (解語) (解語) (解語) (解語) (解語) (解語)

きよ

0

美味し

い漬け方

◆富士七月。 ●のものが多い、長田幹彦 の「燃える花飾」をはじめ をして、新連版に小島政一 をして、新連版に小島政一 をして、新連版に小島政一 をして、新連版に小島政一 をころへ轉じて来た中野政 してよいものだ、家庭劇風な をこれが多い、長田幹彦 の「紹える花飾」をはじめ かに手柄だ の「紹さがつて巧みに近代劇の してよいものだ、家庭劇風な をころへ轉じて来た中野政 した。 長田幹彦も花棚ものところへ、新詩調 一點張りのところへ、新詩調 一路張りのところへ、新詩調 で発来の情はせてゐるのがよ ながまた。 で発来の情に表した。 「記述来の情に表した。 「記述来の情に表した。 「記述来のもない。 「記述来のもない。 「記述来のもない。 「記述来のもない。 「記述来のもない。 「記述来のもない。 「記述来のもない。 「記述来のもない。 「記述来のはない。 「記述来のもない。 「記述来のもない。 「記述来のもない。 「記述来のもない。 「記述来のはない。 「記述来のがよい。 「記述来のもない。 「記述来の。 「記述来の。

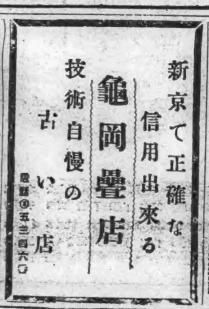
上森(豊) 小澤・荒井(夜)

十六リット

花王石 一個進呈

社會式株油醬田野溯滿西鐵天奉













手を用して、瞭ほけただれた、服か、ほろかでいぼろ衣の中

を獲げて来た、法

○ ロマンテイックな幻想とからである。像はこの時代に對する一大強化側でである。像はこの時代をしてをある。像はこの時代をしてをある。後はこの時代をしてをある。後はこの時代をしてをある。後はこの時代をしてをある。後はこの時代をしてをある。後はこの時代をしてをある。像はこの時代をしてをある。像はこの時代をしてをある。像

流浪見の顔。笑つ

ーちん、甜菜は鑑かるぞ、えこの甜菜が市場で競られる時は、俺あ、大器で熟場つでやるぞ。 一こらあ、俺達のお上への準公心の腸だ、何んの、法園が要るものか、大躍でぐんが要るものか、大躍でぐんがある。 日園の負責である。 日園の負責である。 お夢に続けつく様に埋やいてある太陽の光。 かある太陽の光。

- お爺!要らねえーんだろ。 - ぶん、ぢゃ、俺あ、一鍵あっぷん、ぢゃ、俺あ、一鍵あ

い百姓女が優々、W

、入の限

(可認物便部領三次)]

の他種々雅多の群衆がの他種々雅多の群衆がに励いてゐる。

はまさき、御問屋の手代から のと、では、その豆腐汁を含ま た農民が、その豆腐汁を含ま たりにすいつてゐる。 だいーと弧空を、虚ろな眼を して見つめてゐた流浪見が、 がよんと、飛び上つて、その がよんと、飛び上つて、その を、くぐる様に、群衆を分け ながら、眼は下へ、眼は下へ い入つた箱か

らにして見物してゐる者もあったやらな気持すら瞬間忘れらなる好奇心には、各個人的な本意の王夢惺へ對する感敬も香信仰にさへなりかゝつてゐたやらな気持すら瞬間忘れら

次元 女子専 門の 大子専 門の

謄寫·代書

タイプ印書

實制士用靴

成町二ノ一四

新滿油

大き

9

でいくら作つても、響栗のをいくら作つても、響栗のをいくら作つても、響栗のをいくら作つても、響栗の 京」(『改造』六月號)

をして「おう…」と、それは 感動とも溜息ともつかぬ離を しくと次の瞬間には又もとの でうにその瞳は閉ぢられてし

トラック に供る 大和運輸公司 大和運輸公司 機業出土材料一般

電(3)二七四七

専門の當店に限る 一四 高代し場く用

お茶と

新京吉野町一丁目

みどり茶園

これはまさしく一つの酸端と呼ばるべき小説であらうい。 これはまさしく一つの酸端と呼ばるべき小説であらり、監督助手のやうなことをやつてみる無疑力な男。 をおのに悪塵のやうなことをやつてみる無疑力な男。 をおのに悪塵のやうなことをやつてみる無疑力な男。 をおのに悪塵のやうに野ばれてある男、俳優を志願してしくと書き流してある。 そしてそれだけのこと、これなら「それらの人物によつて構成される嵩面、温面を手際よく書き流してある。 そしてそれだけのこと、これなら「それものに風塵のやうに野ばれてある男、佐優を志願してしくい変だけがある。 武田麟太郎の「朝の草」と比べてその間に天きな距離を感じさせられる。作者のために惜しむべき一作。

微像で既に醉つたやり

電話③五六六九番電話③五六六九番電話③五六六九番 **ひ致します** 総合教授

へ和通四六ノニ 堂

帝都やネマ前)



党日本汽船出於

「九州各隊行船身連絡切符を清銭主要解及びピエーローに

新大夏会場と

四月 三八九

●②・1 ピストル院 西四五二日春

電話金融 低利で數態に

白金·金·銀高價買入

● ● ● ● ● ● ● 申 排 日 場 長 病 病 病 病 清水堂鍼灸院 工类

於 路 丸 淡 路 丸

大阪商船株式會社大阪商船株式會社大阪商船株式會社

電 專屬荷扱所

東一條通り一四東一條通り一四東一條通り一四東一條通り一四 靴は金城 御入學用靴と



今辨慶整骨院

電話の五三六一番









(13.C.1

世界的殺虫試験法の構成ピートグ フデー氏法に依る質地殺虫試験等 引火安全 芳香馥郁 污損絕無 人畜無害 虫も敷滴のインピ モチロン百萬の害 レスで忽ち絶滅ノ 郷、南京虫、蚊は 價格低靡 品質不變 効力絕大 使用鎬單 食料品店ニアリ 石川畑一人立人 元資、發總

原作、脚色

をがむしやらに喰ひ付くり地がき乍ら、半分喰つた瓜を、

低吟してある。 ひしれた男、 ひしれた男、

げると、これを築

な、歯節の低い哀音にしては、余りにもにしては、余りにも

でもした、新鮮で果實と野菜 湯気の後望。そしてその豆腐汁と の食堂。そしてその豆腐汁と

尚も笑つてゐる群衆と、善良 作してゐる農民に関は、いつの間に

ー何を、小僧、お前の酒ぢやこれあり、水僧、お前の酒ぢやねえーかえ、えいの酒ぢやねえーかえ、えいのこれがではない。 んに叱られるよ。ちちれのいのである、今日も島は休かってもらはにや、

び出る。
一それから、うちのかゝと云ーそれから、うちのかゝと云に。
一それから、うちのかゝと云ーを題また、ふと思ひ出した機に、低吟を續けながら、居酒に、低吟を續けながら、居酒

同い胡弓と、ドロい胡弓と、ド

が地設計等一切地籍測量、農 さ者 共に本質へ 自疆會

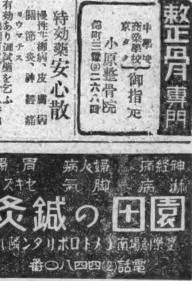
連材料選択 一型工務所へ 一型工務所へ 一型工務所へ 一型工務所へ 一型工務所へ 一型工務所へ 一型工務所へ 一型工務所へ 一型工務所へ 凝缩病院東正門前

古光堂療院

丸八商店

小僧、外の方へ向つて、しきりにいらくしてゐる。 その恩も養理も忘れてしま やがつてさ、俺が來りや、 銭、銭、銭が大事と云ひや がる。糞!おもしろくもね

帝町三種の11六八町 小原整骨院 小原整骨院 的藥安心散







(入院 確意)

電話三―三七五六巻

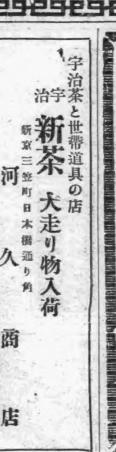


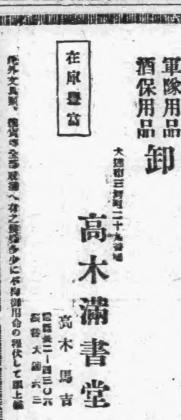
釀造元 性內 丸辰醬油會社 科 病 小兒科 痔疾科 THE REAL PROPERTY.







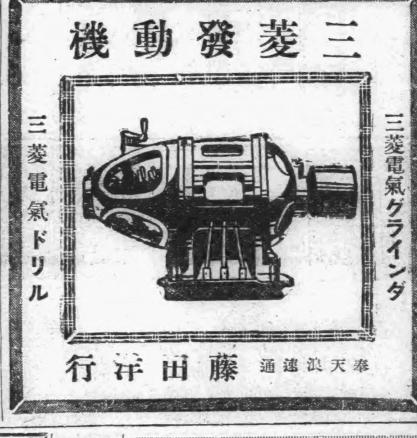




無順元の

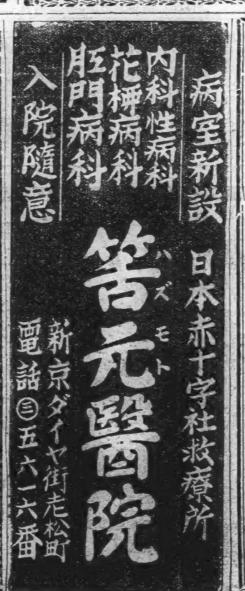


を命用御に店門事



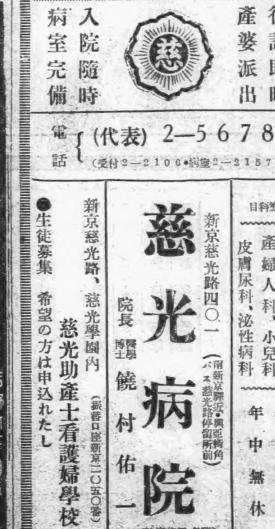














產婆派即

出時

は電氣上行

新京俱勝

々の爆弾平氣

%庭用防空室

新處長が模範的設備 重性市工

聞

協和會を主体 既存日滿靑少年團体を

紐と房にスマ

ートな工夫

改制

新に大醴服も制定

詩吟と劍舞で

皇軍慰問

酷暑

国務新京もいよく 本格的な とばかり、借のペーヴメントにはパナヤ帽、白田、ガラスとなり、水銀柱も九日午 をにて銀氏廿九度までせり上した、長春天後の新京もいよく本格的な 大天氣の總元締領の法では九日一日で四千貫 の北を費りさげき「吾等の季か天氣の總元締領京中央静豪 ふ廿九度

と 語くのの熟め氣夏繭で つ本ででがに歴型別は つてゐる です、氣まぐれ温度でな が水源類に吸收されない です、氣まぐれ温度でな 本當の夏ですよ 温度でな

時、新家

離泉したは一離京兼定」と訂一日とあるは「七月一日一に一日とあるは「七月一日一に一日とあるは「七月一日一に一日とあるは「七月十日附本紙タ 滑京中の代議士吉領庄克氏は 十日午前率時襲列車で哈爾濱 へ向つた 吉桶代議士北行あで次連に向ひ職京した 農林參



官衙方面進出

傳票職術で

注目さ

される防空展覧會はその規模 に於て内容に於て母客に於て母官に於て内容に於て母客に於て母客に於て母官で見ざる 大計畫のもとに各關係機關に な育れてゐるが駐禰海軍部で は同展覧質の參考品として今 大計畫の水上飛行機一台と渡 あるのは時節柄注目すべきものが 防容展出品 く と並んだら何と秋田一の光頭の維ある金・野長が海田治安部次長と神芸んだ▲後の方で誰かざまく並んだものだね、エまく並んだものだね、エまく並んだものだね。エまく並んだものだね。これでは、近くでしまつと笑つてしまつた。 次長で回いて「何がないかね」後に居た宮澤田から、あるいでは、いかれ」をに居た宮澤田がないかれ」と言いた。

電③2606番 場に即死した、急報に高黙線にふれて感電観

○)が長さ九米の鎌棒を平階道北軍用路一二三魏漢廷(四道北軍用路一二三魏漢廷(四

地線音としては第一回目の計 をなし、近く新京に持縁の上 放送される豫定となつた、現 が送される豫定となった、現

(電本) 物質打造 基形失 4 山 西 3 1 1 0 1 0 1 2 打褶 田 1 0 0 0 0 1 0 0 6 近 蘇 4 1 0 0 1 1 0 1 7 字 9 7 4 0 1 0 0 0 0 0









更に大體服に匹敵する協和大 になるのを新らたに決定し に大なるのを新らたに決定し に大なるのを新らたに決定し に大なるのを新らたに決定し に大なるのを新らたに決定し に大なるのを新らたに決定し

東京市瀧野川町大日本神刀流 ・ 東京市瀧野川町大日本神刀流 ・ に長加藤正風、同顧問獲拠寅 ・ 治郎の陳氏は門弟二君を引率 ・ 北浦皇軍を詩吟と創舞で慰問 ・ のため来京中央通新井組方に ・ のため来京中央通新井組方に

今から二千餘年前、西紀前二 百年頃、四百年に亘つて繁榮 した漢代の文化が常時掲載、 抹余、鮮卑、高句麗と各種族 の勃興してゐた瀬洲に漫凋し て何等かの意味で文化に寄興 したかどうかは今日までこれ

漢文化の 撫順で發掘

知され、更に東京帝大東沖史 物域でも夏蕾(屋根瓦)が設 を設する瓦蕾(屋根瓦)が設 を設する瓦蕾(屋根瓦)が設 を設する瓦蕾(屋根瓦)が設

深く満洲中部に迄長潤漢族と 部及び朝鮮年島のみではなく

地にたに決定、近く内地に發注 のすることなった。これの普 過級が服と異なるところは滿 り、満別國の訪緊親善使節團 り、満別國の訪緊親善使節團 してるる 観泉州の一

拓相説祭 感想を 北端の移民地方を観察中だつ

軍峡匹敦育者たること

拓

滿洲中央銀行庶務課

頭相成度

たんておりまなんだらう。ない

さういつでカーばい、前から贈

このまと行動のては行けないから

理

時

よりも空見さ

動へ残ってゐたのだ。

明し言ってやがらあるな

門りんかいら

(日 曜 全)

とろまで、おびき寄せられて来た

とを残念がつたが既にそれはお

「ス、原館なり

ナンドの風ぎと

恐ろしい魔衆の、既に一歩のと

今の女の夢り書に飾ってゐるんち

を しょ かんど 中で、元の祖

をモギ波した。間ほも踏んで來る

その後の祭の中、山麓の西がある

といふから関係ひなすやうにねる

「おいしは、どうす

行けば、左りに見えるのが東西等

(、 無田の手が伸びて来て

の形はづれを三枚概から右へ折れ

てあたしの行くのを持つて居てお 「さあ、おまいさんも、先へ行つ やつてゐる場合ちゃないぜ」 胸に湧いたのである。

四るのが可笑しい

岩。

殿膝栗

四上

中

助 虧

したのである。 春島は、うま (脚に引かよつ)

た人だった。 よくもこんなに、似た人があつ 強った男だし お銀…信物の長七郎

「ウム、うまく行った」 命や、果して如何に・ 行手は闇だ。黄の晴だ。 あと見込つたお飯。

2 花狂風 た心で、眼で、雪の長七郎を見道 一郎は残って見なければならなく 當然、さらいふ疑念が、青鳥の 勢ひ長七郎をも、 得に、食物と、院職とが、考身の りして飲みものだらう、みる (ねえ 自由を奪い難してしまった。 「べい、合脈でとざんす。オイ、 出るんだよ。様しまれないでうに でいしかい、 対変の場所で待つて *れて、節時(の水質かに難ける 質確の中へ疾込まれて、腹側を ある、瀬命の香島よ。彼女の塚麓は彩ちかつぎ去られた。

すくすく 赤ちゃんを 母乳そのまと

新京時社

スク前

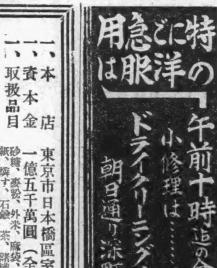
印に限る

题

院



一般刑民法律事務 小西曾 (朔日座四隣) 電③二五三 郷京両七周路 第一網日と 町三丁百七



電話長20五世 0四

五七



応接用セワー高價買入御

キワト各種有、机、椅子新 古 大型金庫

道具

其 什 器

膽鸣印刷

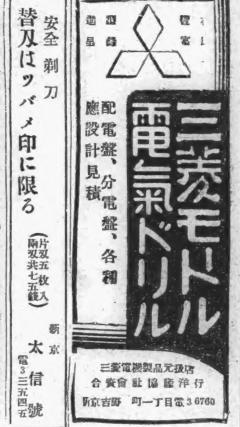
は

新



電の六二四一番





昭和の常舗

話電 (3) ===== 六八九六 =八9八〇

三穀穀業所

腹痛の時は

一度に、か

小内 兒 科科 往診應需 医 學士子 杏林堂醫院 鍜 電話(3)二五二〇番新京吉野町一ノ二三





は、味の素、テキパキ 6月 時の記念日 0 日

諸本素の味